

# 議案第18号 令和5年度東郷町一般会計予算

## 原案<sup>※1</sup> 及び修正案<sup>※2</sup> に対する討論一覧 (討論順掲載)

※1 原案⇒ 上鏡田公園築造事業及び春木中学校東広場整備事業はそのまま

※2 修正案⇒ 上鏡田公園築造事業及び春木中学校東広場整備事業を当初予算から削除

### 原案に賛成 門原武志 議員

全ての住民への1人当たり5000円の商品券、学校給食費の据え置き、東郷町独自の少人数学級として小学校6年生で35人学級、長期休暇中の放課後児童クラブの待機児童対策として小学校施設などを利用したサテライト事業、町独自の私学助成の1万円から1万5000円への増額などを評価する。上鏡田公園築造は、東郷西部土地区画整理事業の条件(事業区域内での3%以上の公園面積の確保)と、住み良いまちづくりのために土地を提供した地権者など、まちづくりを担ってこられた先人のご苦勞に答えるために、町が予算を確保したこの時期の早期着工を求める。既設の公園の整備と同時進行で進められるべきだ。予算編成後の財政調整基金の残高が約11億1500万円にもなることは、まだまだ行政が果たすべき役割があると言える。尾三衛生組合への負担金が今後は毎年1億円ずつ増えることを考慮しても、税金はさらに有効に活用しなければならない。

### 原案に賛成 中野まさひろ 議員

数ある事業の中で、特に以下の2事業を高く評価し予算案に賛成する。「小学校少人数学級実施事業」は、令和5年度は小学校の全学年で35人学級、令和6年度からは30人学級にする事業で、教員が児童に向き合う時間を確保し、児童の心身ともに健やかな成長につなげる可能性を広げる事業であり、教員の多忙化解消にも資するものである。「有機農業推進事業」は、本町の有機農産物のブランド化と地域ぐるみで有機農業を理解し応援する町という、町自体のブランド化による持続的な農業の実現と優良農地の保全の事業であり、他自治体住民からも高く評価されている。今後は、「中学校への少人数学級の拡大」と「急増している不登校・別室登校対策」で町ができることの早急な実施を提案する。

## 修正案に賛成 近藤鑛治 議員

この修正案は、上鏡田公園築造事業（総額3億1936万4000円）公園周囲を10mの高さの支柱を立て、ネットを張った運動場「野球、ソフトボール、サッカー」ができる事業と、春木中学校横に広場築造事業で、グラウンドゴルフが出来る広場8162万9000円。令和5年度分として合計3億4613万1000円を削除する修正提案。本町には、都市公園が町民の身近な所に86か所、その他「町民運動広場、愛知池運動公園、境川緑地、東郷町交通児童遊園」、「和合知々釜グラウンド、祐福寺区民グラウンド、部田運動公園」がある。私は何度も見て回り、「草刈り、遊具の修繕・更新、公園施設整備等」みんなが集える、安心して遊べる十分に整備された公園になっていない。修繕の緊急性が高い「涼松緑道」もあり、新たな公園築造ではなく、既存の公園整備優先が「町民の声／町民ため」と考える。春木中学校横広場築造は、学校として強い要望があれば学校管理の広場として再検討を希望する。

## 原案に賛成 國府田さとみ 議員

過去最高の予算額かつ財政調整基金が約11億と、財政的な安定感と発展を感じさせる内容。県に先駆けての全小学校6学年35人学級実現への予算投下は、教育における本町の前向きで先進的な姿勢が感じられ何よりも高く評価。小学校英語活動事業、中学生学力支援事業、小学生アクティビティ・プログラム実施事業は子ども達の学びの質の向上に通じ、本町で教育を受けるメリットを感じさせる。故に、施策運用は、公平かつ子ども達の主体的なニーズが軸となるよう、目的の本質を踏まえて進めて欲しい。子ども達の健全で豊かな育ちを担保する給食の有機栽培食材拡大、図書館学習室の整備、仕掛絵本充実事業は子ども達が得られる経験の質や中身の向上となる。24歳までの学生医療費助は高等教育を押し上げる意味でも、大学院生を含む対象の拡大を視野に入れた運用を望む。上鏡田公園築造はコロナ禍による閉塞感の癒しとなり心の豊かさ、希薄になった人との繋がりを取り戻す。